

令和5年度 芦屋市自立支援協議会 専門部会について

1. 令和5年度専門部会の取組内容

昨年度の自立支援協議会実務者会では、座談会で広く地域課題の抽出を行った。その中で、課題として上がっていた『ライフステージ全体を可視化できる仕組みづくり』を今年度の専門部会のテーマとし、『障がいのある人の「現在地」がわかるライフステージのフロー』作成に取り組む。

2. 令和5年度専門部会の開催状況

	日時	場所	内容
第1回	令和5年 6月28日	芦屋市保健 福祉センター	・自立支援協議会の報告、活動目的について ・『障がいのある人の「現在地」がわかるライフステージのフロー』具体的イメージについて意見交換・共有 ・令和5年度専門部会年間スケジュール検討
第2回	令和5年 7月28日	芦屋市保健 福祉センター	・調査内容を持ち寄り、ライフステージごとに意見を出して集約する
第3回	令和5年 9月8日	未定	・ライフステージごとに意見を出して集約② ・掲載内容の精査。
第4回	令和5年 10月頃	未定	・ライフステージごとに意見を出して集約③ ・掲載内容の精査。
第5回	令和5年 11月頃	未定	・ライフステージごとに意見を出して集約④ ・たたき台の作成 ・作成物の周知活用方法について検討
第6回	令和5年 12月頃	未定	・たたき台の完成・確認 ・作成物の周知活用方法について検討
第7回 以降	令和6年	未定	・作成物の完成・配布・告知 ・今年度専門部会 活動内容のまとめ ・地域課題解決の評価

3. 第1回終了時点での進捗状況

今年度は当事者家族や児童期から成人期以降まで広く障がい者支援に携わる職員等を構成員に迎えた。目標とするツールのイメージを共有するため、既存の資料を参考に構成員より必要要素について意見を出し合った。今後は、構成員でツールに盛り込む情報を持ち寄るとともに、発達・療育等の専門機関からも意見をもらい制作を進め、12月頃の完成を目指す予定。